

弊社製品のハイブリッド風速計をご愛顧いただいておりますお客様方に、ご提案申し上げます。風速計のセンサーは、測定対象となる空気流が常に清浄な空気流とは限らず、埃や微細なミスト、腐食性ガスを含んだ空気流にさらされた状態で、風速を測定していることが多々あります。当社ではお客様方に本風速計の精度維持のため、ご使用後のセンサーを水もしくはアルコール系（エチル又はメチルアルコール）での洗浄をお奨めしております。

しかしながら熱線式風速計は熱を媒体として、奪われる熱量を風速値として換算表示しているため、温度および圧力、不純物の付着等での熱量変化に伴う測定誤差が生じる場合が多々あります。当社ではお客様方に、ご使用風速計の測定値が、正確な数値か否かを判定するためにも、1年に1度程調整校正作業を受診されることをお勧めいたします。

校正された風速計で作業を行うことにより、精度の良い測定を行い測定者の安心感をも高めることが出来ると確信いたしております。